

みちみちすいすいプロジェクト 賛同企業

随 時 募 集 中 !

みちみちすいすいプロジェクトに賛同していただける企業や自治体を募集しています。このプロジェクトは渋滞緩和だけでなく、多様な働き方の実現やCO₂排出量の削減など、SDGsの実現にも貢献します。岐阜県全体で暮らしのアップデートをめざしましょう。

登録条件

- ☒ 時差出勤や在宅勤務の制度整備、利用促進に賛同いただき、今後取り組む意欲のある団体
※現時点の制度整備の有無にかかわらず登録可能です。
- ☒ 岐阜県内に本社または事務所を有する団体
※支社・支店など系列事務所の登録も可能です。
- ☒ 業務上で岐阜県と関わりがある団体
※岐阜県内に通勤者や取引先がある等。

ご登録後、フォローアップを目的としたアンケート等のご協力をお願いすることがあります。



企業・自治体のご登録はこちら

ご登録いただいた団体は、公式ウェブサイトで紹介させていただきます。



プロジェクトに対するみなさんの声をお聞かせください



[お願い]通勤手段の変更に伴う費用や安全の確保につきましては、事業所または個人の責任でご対応をお願いいたします。

岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進企業登録制度

岐阜県では、仕事と家庭の両立に取り組む企業を支援しています。登録すると以下のメリットがあります。

- 1 登録企業やその従業員が金利優遇措置を受けることができます。
- 2 「SDGs推進資金(県中小企業振興支援資金融資制度)」の利用対象になります。
- 3 県の建設工事入札参加資格審査において加点されます。
- 4 ジンサボ!ぎふで特典があります。
- 5 企業イメージ向上につながります。(県HPで登録企業の紹介、登録証発行・PR等)

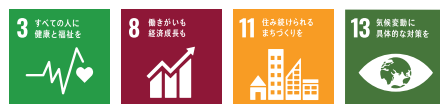


詳しくは岐阜県HPへ



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

みちみちすいすいプロジェクトは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



岐阜県道路交通渋滞対策推進協議会

国土交通省中部地方整備局、国土交通省中部運輸局、岐阜県、岐阜県警察本部、多治見警察署、高山警察署、飛騨警察署、下呂警察署、岐阜市、大垣市、美濃加茂市、各務原市、可児市、多治見市、土岐市、瑞浪市、高山市、飛騨市、下呂市、中日本高速道路(株)名古屋支社、岐阜県トラック協会、岐阜県バス協会、岐阜県タクシー協会、東海西濃運輸(株)、東濃鉄道(株)、東鉄タクシー(株)、高山商工会議所、濃飛乗合自動車(株)、飛騨運輸(株)

■お問い合わせ／国土交通省中部地方整備局 岐阜国道事務所 計画課(事務局)
〒500-8262 岐阜市茜部本郷1-36-1 TEL:058-271-9815 E-mail:cbr-gifu-keikaku3@mlit.go.jp

みちみちすいすいプロジェクトは、2023年11月から岐阜県TDMプロジェクトとして始まった取り組みです。

2024.3

岐阜県交通需要マネジメント (Transportation Demand Management: TDM)

みちみちすいすいプロジェクト

「みちみちすいすいプロジェクト」は、出勤時間帯を中心に毎日発生している交通渋滞を減らし、岐阜県の暮らしをより良くアップデートしようという取り組みです。このプロジェクトは、国土交通省をはじめ、岐阜県、県内自治体、企業がひとつになって推進しています。



岐阜県道路交通渋滞対策推進協議会

いくつかの要因が重なって起こる岐阜県の交通渋滞。 渋滞緩和のために、あなたにできることがあります。

通勤の自動車利用率

約 **71** %

出典：令和2年国勢調査

岐阜市内の国道21号
車両通行台数

約 **6.3** 万台

出典：令和3年度全国道路・街路交通情勢調査

平均走行速度
(7:30～8:30)

20 km/h以下

出典：ETC2.0プローブデータ(令和4年10月 平日)

岐阜県の自動車利用率は全国的にも高く、県人口の約7割が通勤で自動車を利用しています。世帯当たりの自動車保有台数は1.53台で全国8位となっています。

国道21号は県内各所から車が集中し、岐阜市内では1日平均約6万3千台が通行します。1万5千台以上が通行する南北主要道路との交差点も多く、車の通行量の多さが混雑の要因の一つとなっています。

県内で深刻な渋滞が発生する場所は168箇所。国道21号では、岐阜市内のほとんどの区間で朝7時台の走行速度が20km/h以下となり、5つの交差点が県内の事故多発箇所のワースト10に入ります。



岐阜県の交通渋滞には、いくつかの要因があります。自動車利用率の高さ、県内各所から限られた道路に集中する車、多くの企業で共通する始業時間。さまざまな要因が重なって、慢性的な渋滞が発生しています。しかし、一人ひとりのワークスタイルや企業の体制を見直していただくことで交通渋滞の緩和につながります。

令和6年1月24日の
12時間降雪量(関ヶ原町)

降雪量58cm
でその日の
全国 **1** 位

出典：気象庁HP

令和6年1月24日、関ヶ原町でその日の全国1位となる降雪量を記録。県内各地で284件のスリップ事故が発生しました。日頃から渋滞対策に取り組むことは積雪時の交通障害を減らすことにも効果的です。



8:30始業の企業

約 **57** %

出典：TDM賛同登録企業アンケート(令和6年1月)

岐阜県の自動車利用率の高さとともに、出社時間が8時30分に集中していることも慢性的な渋滞の原因となっています。始業時刻を見直すことは渋滞緩和の有効な手段といえます。



在宅勤務と時差出勤が
どちらも未整備

約 **54** %

出典：岐阜市内立休区間沿線市町の商工会会員対象アンケート・ヒアリング(令和4年)

県内の半数以上の企業が、時差出勤や在宅勤務の制度が未整備となっています。時代や社会動向に合わせてフレキシブルな働き方を採り入れることはビジネスの効率化にもつながります。



あなたに始めてほしい、4つのこと。

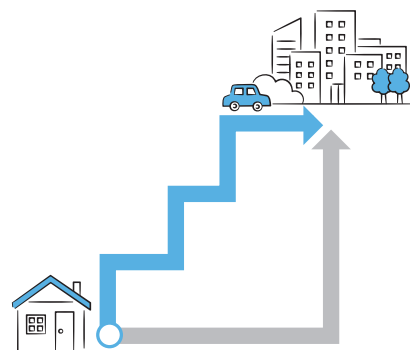
渋滞は仕方ないこととあきらめず、みんなで少しずつチャレンジすれば、岐阜の朝はもっと快適に変わります。

01 ↓ 時差出勤



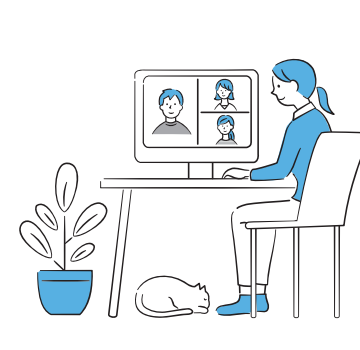
ラッシュアワーをずらして家を出ることで、渋滞に巻き込まれることなくスムーズに出勤できます。いつもより通勤時間が短縮でき、その分余裕も生まれます。

02 ↓ ルート変更



ふだんの通勤ルートを変えて、新しい順路を試してみましょう。多少遠回りでも、車が少なく走りやすい道路が見つかるかもしれません。 ※生活道路の抜け道利用はお控えください。

03 ↓ リモートワーク



コロナ禍の影響でリモートワークや在宅勤務が浸透しつつあります。フレキシブルな働き方で出社の日数を減らすことは、渋滞の緩和にも役立ちます。

04 ↓ 交通手段の変更



通勤を公共交通にかえたり、徒歩や自転車での移動もおすすめです。渋滞のストレスから解放されるだけでなく、身体を動かすことで健康の促進にもつながります。